

気体採取器操作手順

操作は簡単 ワン・ツー・スリーのガステック測定

※気体採取器に漏れがある場合は正しく測定を行うことが出来ません。

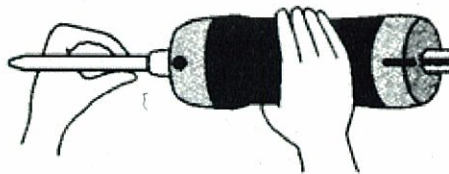
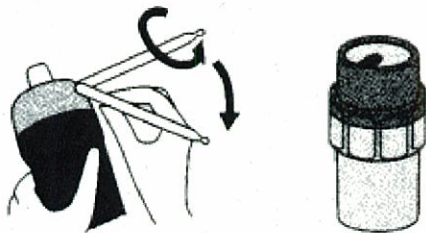
測定前に気体採取器の**気密試験**を行ってください。

1 検知管をセット

まず測定したい気体の検知管を用意します。
採取器のチップブレーカまたはチップホルダ(オプション)で両端をカットし、
検知管はG⇒マークを気体採取器に向け、インレットゴムに差し込みます。
第1ステップはこれでOKです。

A.本体のチップブレーカまたはチップホルダ(オプション)に差し込み検知管の両端をカットする。

B. 気体採取器のハンドルを完全に押し込み、検知管のG⇒マークを気体採取器に向け、インレットゴムに差し込む。



2 一気にハンドルを引く

第2ステップでは、シリンダとシャフトのガイドマークを合わせます。
そして測定場所でハンドルを一気に引きます。
そのまま吸引時間の経過を待ちます。

C.シリンダのガイドマーク(赤線)と、シャフトのガイドマーク(▲)を合わせる。

D. 一気にハンドルを引き、固定する。



完全に押し込まれている状態



吸引回数と吸引時間

吸引回数と吸引時間は検知管の種類によって異なります。
どちらも検知管の取扱説明書に記載してありますので、事前に確認してください。
ただし吸引時間については一応の目安です。
また、容量が確実に採取されているかどうかは、下記のどちらかの方法で確認してください。

1.ハンドル後部のフィニッシュインジケータによって確認する。

2. ハンドルを約90度回し、手を離す。この時シャフトがシリンダ内に戻らないことを確認する。戻る場合はそのままハンドルを引き戻し、しばらく待つ。同様の操作を繰

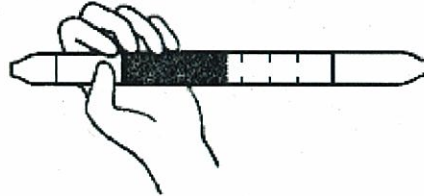


り返し、シャフトが戻らない事を確認する。

3 目盛を読み取る

吸引後、検知管に鮮やかな反応色が現れます。
測定時間(読み取りまでの時間)の経過後、変色層の先端の目盛を読み取ります。
その数値がそのまま正確な気体の濃度です。

E.測定時間の経過後、変色層の先端の目盛を読み取る。

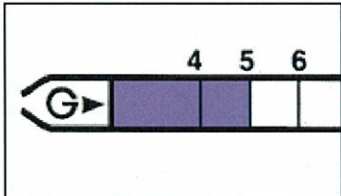


濃度目盛の読み取り

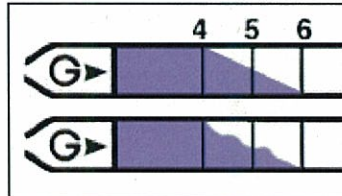
①変色層先端が平らな場合
変色層先端の数値を読み取る。

②変色層先端が斜めの場合
変色層の斜め部分の中間を読み取る。

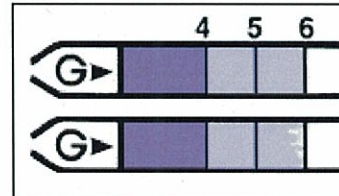
③変色層の先端の色が淡い場合
淡い変色層の先端と濃い変色層の先端の中間を読み取る。



この場合は、測定値5%



4と6の中間で測定値5%



4と6の中間で測定値5%

濃度の上手な見方

ボールペンで印をつけて読み取ると便利です。

◀前画面へ戻る ◀リストへ戻る ▲一番上へ

Copyright(c) 2006 GASTEC CORPORATION. All rights reserved.